令和7年度日野市廃棄物減量等推進審議会　要点録

■会議の日時等

日時　　令和8年(2026 年)2月 27 日(金)　午前9時 30 分～午前 11 時

会場　　日野市クリーンセンター　プラスチック類資源化施設　2 階多目的室

出席者　審議会委員

【市民委員】　小池委員、近藤委員

【事業者委員】　田﨑委員

【資源回収業者委員】　高松委員

【廃棄物収集業者委員】　秋間委員、駒沢委員

【学識経験者委員】　宮脇委員、渡辺委員

事務局

【環境共生部】　川鍋環境共生部長兼クリーンセンター長

【ごみゼロ推進課】　小澤課長、志村係長、河本

【施設課】　細谷課長

傍聴者　なし

次第

＜審議会＞

1. 報告事項

◆ごみ・資源物量について

・ごみ収集、資源物回収量について(令和7年12月まで 対前年比較)【資料1】

・ごみ量の 10 年推移(H27～R6)【資料2】

・清掃概要(令和6年度実績)について【資料3】

・可燃ごみ処理施設、プラスチック類資源化施設　搬入状況【資料4】

2. 諮問事項

「令和8年度一般廃棄物処理計画(案)」について

■要点録

1.　委員及び事務局の自己紹介

2.　会長・副会長の選任

・会長に宮脇委員、副会長に渡辺委員を選出

＜審議会＞

1. 報告事項

(1)事務局より、資料1～4に基づいて報告

≪質疑応答≫

A 委員:　資料1について、総ごみ量の中には「資源物」も含まれているのでしょうか？

事務局:資源物も含んだ量となっております。

A 委員:ごみとして出す際、資源物は分別して出しているのに、なぜごみ量として計測されてしまうのでしょうか？

会長　:過去より、統計的な数値を扱う上で環境省において総ごみ量の定義の中に資源物が入っており、それが現在でも使われております。
A 委員がおっしゃられる、ごみと資源物は異なるということはよく理解できるのですが、資料として示す場合はこのような表記になってしまうことでご容赦ください。

A 委員:日野市は、2 年連続で 1 人 1 日あたり排出量が全国 1 位になったのは、資源化がよくできているからだと思っておりました。

会長　:日野市の排出量が少ない理由は、家庭から出されるごみ量自体が年々減少しているからでございます。

A 委員:自分は、ペットボトルやトレー、新聞などは購入した店舗に返しているが、これらは総ごみ量に入っているのでしょうか？

事務局:店舗にお返しいただいたものは計測しておりません。

B 委員:資料4について、搬入から搬出を差し引くと差が大きくなっているようですが、これは分別が悪くなって不純物として捨てられたものが増えているということになるのでしょうか？

事務局:資料4　2 ページ目プラスチック類資源化施設　搬入状況1ごみ量実績(令和5年度、令和6年度)からのご指摘かと思われます。
不燃ごみの中でも鉄等はリサイクルに回し、それ以外は破砕しております。
市としては一概に分別が悪くなっているという認識は持っていないのですが、引き続き分別の徹底を周知・啓発していきたいと考えております。

B 委員:先ほど A 委員がおっしゃられていた店頭回収ですが、より多くのご家庭が

店頭回収に努めてもらえれば行政側の収集コスト等も減少するので、非常に良い取り組みだと思っております。

C 委員：資料3の4資源物回収状況で総資源化率が示されていますが、計算式の元となる数字は、資料3　3ごみの行方だとどこを見れば良いのでしょうか？

事務局：分母については、表の左側に記載している「ごみ量」「資源物」「集団回収」の合計であります。分子につきましては、表の右側「残灰」から「資源物」までの合計となっております。

D 委員：市民の皆様が資源物として出される際、ビニール袋等に入れられていることがありますが、そのようなビニール袋は資源量としてカウントしませんので、回収量と資源量が必ずしも一致していない現状となっております。

会長　：補足させていただくと、多摩地区では焼却灰はほとんどエコセメントになっております。これもリサイクルに回っているということで、全国平均よりもリサイクル率が高くなっております。

B 委員：資料3で示されている資源化率には、灰のエコセメント利用は入っていないのではないでしょうか？

事務局：入れております。

C 委員：「市が示す資源化率」と「環境省が示すリサイクル率」は違うものでしょうか？

事務局：焼却灰が入っているか・いないかであります。

C委員：それであれば、日野市の総資源化率は全国 10 位以内に入る数値だと思うのですが、なぜ入っていないのでしょうか？

会長　：環境省が示すリサイクル率には、焼却灰が入った資源化率と入っていない資源化率がございます。順位として示すのは焼却灰が入っていない数値であったと思います。そのため、日野市は 10 位以内に入っておりません。

A委員：ただ今の説明に関してですが、乾電池や蛍光管も資源になっているのですか？

事務局：資源になっております。

E委員：エコセメントについて、重金属類等の含有は大丈夫なのでしょうか？

会長　：エコセメントにする過程で、高温で加熱するため揮発いたします。よって重金属類は含まれておりません。

会長　：それでは他にご質問等ないようであれば、次第の次に進みたいと思います。次第の4. 諮問事項である「令和8年度一般廃棄物処理計画（案）」について事務局より説明をお願いします。

事務局：諮問事項「令和8年度一般廃棄物処理計画（案）」を説明

会長　：ただ今説明のありました、「令和8年度一般廃棄物処理計画（案）」について、

ご質問・ご意見があればお願いします。

A 委員：計画案 7 ページ、5. 最終処分計画（埋立処分）について、これは日野市だけが埋め立て量0ということでしょうか？それとも他自治体も0ということなのでしょうか？

事務局：日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場へ灰を運んでいるのが都内 25 市1町でございます。この 25 市1町すべてが埋め立て量0ということでございます。

E 委員：計画案 10 ページ、（2）資源循環型ごみ処理システム構築のための施策について、個人的な提案になるのですが、病院や介護施設から出るおむつをリサイクルできれば良いなと思っております。他の自治体では企業と連携し、実施してるところもあるようです。

事務局：組成分析をすると可燃ごみの約10％程度がおむつになっている状況です。
今後、高齢化が進むと増々おむつの排出量が増加するものと思われます。
市としても調査・研究はおこなっているのですが、日野市の人口規模だと 1 日あたり学校のプール 4 杯分くらいの水量を使用してリサイクルしているそうです。
これだけの水量を使用してリサイクルすることが、環境に対して果たして本当に良いのか悩ましいというのが実情でございます。

A 委員：可燃ごみ処理施設へ国分寺市・小金井市から搬入されていますが、その費用というのはどうしているのでしょうか？

事務局：日野市・国分寺市・小金井市の 3 市共同で可燃ごみ処理施設を運営しております。そこにかかる費用は、3 市のごみ量を按分して負担しております。

B 委員：計画案 8 ページに「ごみゼロ推進員」とございますが、具体的にどのような活動をされているのでしょうか？

事務局：「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に位置づけられた、ごみの発生抑制を進めていくための廃棄物減量等推進員制度に基づくものです。
ごみ減量には、各地域と行政がきめ細かい情報交換を行いながら地域に密着した啓発活動を行うことが必要なため、各自治会から推進員のご推薦をいただき、地域と市を結ぶ窓口としてご活躍いただいております。
市では、年 2 回研修会を開催し、その場で得られた情報等を自治会や地域の皆様にお伝えいただいております。

会長　：その他に何かご質問等ございますでしょうか？なければ、審議会では、「令和8年度一般廃棄物処理計画（案）」につきましては、「適当」と認め、市長に答申いたしたいと思いますがいかがでしょうか？

（委員一同　異議なし）

それでは、本日の議事はすべて終了いたしました。

進行を事務局に戻させていただきます。

事務局：本日はご多忙の中ご出席いただき、ありがとうございました。
これを持ちまして、令和7年度日野市廃棄物減量等推進審議会を終了とさせていただきます。
長時間に渡り、ありがとうございました。